

K-aiNEWS

敬愛会の今をつたえる

社会医療法人敬愛会 広報誌

ご自由にお持ち帰りください

2024.2
Vol.132号

旧職員からお世話になった敬愛会へ

サムライ

「設立理事 七人の士」

ブロンズフォトレリーフ贈呈式

令和5年12月、敬愛会発祥の地に、なかがみ西病院を開院いたしました。

その記念として旧職員を中心とする「敬愛会を愛する有志の会

(発起人：たまきクリニック前院長 玉城政弘)※以下、有志の会」よりレリーフ製作のご提案を

受け、有志の会が製作費の寄付を募ったところ個人・法人、計132名よりご賛同いただきました。

なかがみ西病院内覧会で記念レリーフの贈呈式が行われ、1Fロビーにて展示とご寄付いただいたみなさまのリストを掲示いたしました。たくさんのご寄付を賜り心より御礼申し上げます。





なかがみ西病院開院記念 中頭病院 創成期メンバー OB 座談会



サムライ
ブロンズフォトレリーフ「敬愛会・設立理事 七人の士」
1979年（昭和54年）5月、県立中部病院研修4期生の石原昌清、武島正則、砂川豪甫、平安山英義、玉那覇榮一が中心となり、病院開設にむけ立ち上がる。のちに嵩元盛順、大山朝弘が加わり、敬愛会創設の「七人の士」と呼ばれるようになった。

敬愛会の原点を未来へつなぐ

翁長（司会） みなさん、お越しいただきどうもありがとうございます。先ほど無事レリーフ贈呈を終えました。一つの種からここまで大きくなった敬愛会ということで、まず開設

当初のこと、苦労したこと、あれこれ楽しかったことなどエピソードをお話しいただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

玉城 私は中頭病院が開院した3、4年あとに入職したので、創立時のことは詳しくはありませんが、当時、石原昌清先生から「敬愛会を立ち上げる」と色々と話は聞いており

ました。医療機器の手配や人の確保で、すごいスピード感で理事の先生方が何度も東京に行き来していたようです。非常にご苦勞をされていたということがうかがえます。その頃の内科医は、石原昌清先生と仲田清剛先生、そして3人目が私でした。3名で入院や外来をみていました。ほかの先生方が一生懸命働いていたものだから怠けることはできなくて（笑）
ついていくのに精一杯でした。

翁長 当時は何床ぐらいでしたか？

玉城 100床です。石原先生に怒られないかいつもヒヤヒヤして過ごしていました。「あれしなさい、これしなさい」と石原昌清先生の言う通りに動いて。

翁長 今の玉城先生からは想像がつかないですね（一同 笑）



玉城 政弘

たまきクリニック前院長、敬愛会を愛する有志の会・発起人 中頭病院3人目の内科医。



翁長 多代子

元中頭病院統括看護部長
現沖縄看護専門学校・学校長

アイデアは飲み屋から

玉城 大山朝弘先生と飲み屋の帰りに二人でタクシーに乗って、ああだこうだと思いを馳せながら語ってね。アイデアはいつも飲み屋から生まれました。

しかし今の中頭病院、敬愛会がこれだけ大きくなるとは思いませんでした。

翁長 飲み屋！雰囲気リアルに思い浮かびますね。わかります、わかります。(笑)

玉城 大山先生が「敬愛会は私達よりも長く生きるんだよ」と仰っていたんですね。おそらく「こういう病院になる」と強い志を持っていて敬愛会をつくってきたのではと思います。

平安山先生は「種をまいた」と仰っていました。これからまだまだ実が成ってくると思います。ぜひ石原淳先生をはじめ、職員のみなさんにはその志を忘れないでほしいと思いレリーフを贈呈しました。

「敬愛会」命名の由来・西郷隆盛のことば「敬天愛人」より
天（大自然の力やこの世界にあるもの全て）を敬い人を愛するという意味。礎に愛を持ちながら行動すべき時は断固として行動する。その行動は自分の利益や他人からの評価を求めものではなく、大義や使命や天命からなるものである

嵩元 中部病院の4期生を中心に「中頭病院を作ろう」と動き出して、少しあとに仲田先生や砂川先生が加わりました。話し合いの中で、まず組織は人、金、土地3つを揃えなければならない、と。金と人は集まっているが土地がない。暗中模索のなか、泡瀬はどうだ、あっちはどうだとか右往左往している時に、市役所の方から「ちょうど知花のキャンプヘーグ跡地が今、空いていますよ」とお声がけいただきました。



嵩元 盛順

敬愛会設立理事、
臨床検査技師
趣味：ゴルフ

石原淳 もともと米軍基地があったんですね。

嵩元 そうそう。返還されているけれど、そこはまだ農地で手がつけられない。多方に手を尽くして8年目ようやく土地の確保ができました。

翁長 昌清先生、なぜ新たに病院を作ろうと思ったんですか？

石原昌清 僕が言い出したかどうかわからないけれど、とにかくまあ、あの頃は中部病院がとても忙しく、ベッドも足りず廊下に患者さんがおられるような状態でした。何とか後方病院みたいな形で、ちょうど今、中頭病院のベッドが空かず、なかがみ西病院ができた経緯と似ています。何とか後方病院という形でできないかなということでした。あの頃は、こんなに大きくなるのは夢にも思わなかったです。嵩元さんが土地の交渉など全部やってくれたし、大城初男事務長も仲間に加わり事務系を引き受けてくれました。

嵩元 当時の中部病院の新垣院長のバックアップもありました。中部病院がものすごく忙しいものですから、新垣院長のご意向もあって、看護師さんをこちらへご紹介いただくなどご協力くださいました。

玉城 確か、川上さんは看護婦長を務めていらっしやいましたね。

石原淳 中部病院からいらっしやったんですか。

川上 はい。忙しい環境で看護に携わっていました。新しく病院ができると聞いて心機一転、患者中心の医療を、と思っ



石原 淳

なかがみ西病院院長
令和5年11月で消化器内科引退。



石原 昌清

敬愛会設立理事、元副院長。県立中部病院・中頭病院消化器内科のバイオニア。趣味：昆虫採集。



川上 節子

元中頭病院看護婦長

て再就職しました。

翁長 (メンバーを見て) 怖くなかったですか？

川上 いやいや (笑)

翁長 実は私も中部病院を視野に就職活動をしていました。覚えていないかもしれませんが、石原昌清先生が「民間ならではの医療ができる。患者さん中心に考える。だからこの病院をつくるんだよ」と仰っていました。同じような話を川上さんから聞いて。実は、看護学校の先生からは「民間は心配。どうなるかわからない、倒産するかも！」と言われていました。でも皆さんの想いを知って、周りに反対されつつも看護実習からお世話になりました。就職して色んなことを学んで、ここまでできました。

平安山 当時、コザ看護学校の優秀な生徒さんがたくさん就職されました。今と変わらず看護師は足りない状況だったし優秀な翁長さんが来たもんだから他の生徒もついてきたって雰囲気でしたね。



平安山 英義

敬愛会設立理事、外科医。
現在も外科手術、外来、
胃カメラを担当。
趣味：野鳥カメラマン

中頭病院創設の経緯

4半世紀にわたる米国の信託統治から解放された昭和47年、沖縄の日本復帰が実現した。社会整備の遅れを取り戻すのに全ての分野で躍動のまっただなか、1982年(昭和57年)4月、中頭病院が誕生した。当時から県立中部病院は地域医療の中核として活躍し、将来の沖縄県の医療を背負う若い医師、看護師など医療人の育成にも余念がなかった。中部病院の多忙さを目の当たりにすると医療機関の少なさを感ぜずにはいられなかった。将来に夢をたくし高度医療の達成にむけ何名かの医師(のちの七人の士)、臨床検査技師、看護師、そして事務系に輪が広がり、新たな病院の開設に至ったのは当時の情勢から自然発生的でごく当然の現象でもあった。医療法人の認可や土地事情などさまざまな問題を解決しながら1982年(昭和57年)、米軍キャンプ・ヘーグ跡地に中頭病院を開院。

「中頭病院10年記念誌 病院長大山朝弘あいさつ」より抜粋

翁長 三浦さん、当時の状況はどうでしたか？

三浦 まずは病棟の患者さんの食事管理ですよね。自分の家族と思ってしっかり仕事してきました。当時は職員食堂も一緒にやっておりました。いつもね、大山朝弘先生がお昼にいらっしゃるとき、ご飯に塩をかけるんです。「先生、なんで塩をかけてらっしゃるの？」って尋ねたら「俺はね、朝飯食ってないんだよ。塩分足りないから塩かけてるわけ」と仰って。いつもそうやって食べていたので心配でした。



元中頭病院栄養部主任
三浦 洋子

平安山 しょうがないねー (笑)

三浦 患者さんに対してだけでなく「働くスタッフみなさんの健康を考えながら」ですね。職員が元気じゃないと病棟に元気は出ませんからね。そういった意味で、常にみんな家族、みんなを愛していこうって気持ちを持っていました。

石原昌清 中頭病院の開院までは、準備室が動いていました。その初期メンバーに山城友子さんがいて、みんな仕事終わってから準備室に集まる、というような感じでしたね。

山城 当時勤めていた中部病院では、医局秘書が職員として配属されておらず、ポケットマネーで先生方が1万円ずつ、レジデントは5,000円くらい出し合って秘書を雇っていました。医局秘書の私のお給料はそこからいただいていた。それから新しい病院をつくるから、と誘われて準備室で働き始めたんです。



元中頭病院医局秘書(初代)
山城 友子

翁長 そんな時代もあったんですね。

山城 翁長さんが看護学生の時、検診のアルバイトによく来ていたんです。だから翁長さんは私の顔を見るなり「中部病院の医局に

いた人！」って（笑）

準備室では木曜日の7時ぐらいから理事会があったのでその準備をしていました。

武島先生も頻繁にいらっしゃるようになって本格的に活動が始まりました。伝票を作成したりロゴマークを考えたり、色々な病院に見学に行ったりとワクワクした気持ちで仕事していましたね。

中頭病院の開院後は医事課の事務員として採用されたものの、本が無い、図書室が無いことに違和感があって。学習や学会発表には文献が必要ですから、本を求めて1日に1度は中部病院に行っていました。そのうち一人で医局秘書をしていましたよ。こじんまりとした空間に6名ぐらいの医師と和気あいあいと過ごしていました。

石原昌清 玉城先生がまだ他の病院で勤めている頃、彼はいずれ中頭病院にくる予定になっていたの、玉城先生と二人で東京へ行き、そこで働いていた松川さんをスカウトしました。あれは非常に思い出深いですね。松川さんが師事していた関東中央病院の竹原靖明先生に松川さんをぜひ沖繩に帰してほしいとお願いして。3名で東京で酒を飲んで（笑）

松川 講演会で沖繩に戻った時、工事中の中頭病院を案内してくれたんですよ。正面から見たらサトウキビ畑でね。大丈夫かな、この病院は？本当に建つのかという感じでした（笑）それでも先生方の実績を存じ上げていますし玉城先生にはよくお会いしていましたから、ぜひ中頭病院に就職しようと決めまし

た。先生方の後ろ姿を見ながらやってきました。

当時は胆石の診断率が出ていなくて、玉城先生と共同で超音波で胆嚢の結石診断率を

97%まで上げて。確か玉城先生が学会で発表されたんじゃないかな。そして肝臓の手術も沖繩県で一番多かった。さらに腎臓病も多くて超音波検査向上のきっかけになりました。当時は尿管結石の造影が主流でしたが、大山先生との共同研究で超音波でも尿管結石がわかることを学会で発表しました。平成23年には厚生労働大臣賞をいただき、平成29年には福見秀雄賞、令和3年には叙勲をいただきました。これらは先生方への恩返しと思って、今でも自負しています。

平安山 松川さんが沖繩に帰ってきて、超音波検査の技術が向上してしっかり診断できるようになった。

玉城 松川君が中頭病院に来てから、消化器の部分においては中頭病院の診断学が沖繩県で一番というような評価をいただいた時代があったと思います。

武島 超音波検査の走りだけど、指導者がいない時代だった。

平安山 石原昌清先生が水曜日に胃カメラ検査を20名近く担当して、1枠5名もオーバーしてやっているもんだから、僕も手伝いますよと言って手伝いに行ったのが胃カメラ検査の始まりで。今もやっています。

玉城 じゃあ平安山先生の師は石原昌清ですね（一同笑）

石原淳 本日は、ご参加ありがとうございました。中頭病院発祥の地に建つ、なかがみ西病院のご縁でお集まりいただきました。先輩方の創成期のスピリッツを受け継ぎがんばってまいります。



武島 正則

敬愛会設立理事、外科医。
趣味：油絵

松川 正男



元中頭病院検査科科长
エコーの達人。現在も
アワセ第一病院で超音
波検査継続中。



令和6年 敬愛会 新春医療連携懇親会

顔の見える医療連携をめざして

令和6年1月25日（木）、新春医療連携懇親会を開催いたしました。

これは、地域の医療機関との連携強化や病院やクリニック・在宅医療機関・介護機関など幅広い分野との連携促進を目的としています。

4年ぶりの開催でしたが、face to faceでの交流で活発に意見交換ができ有意義な時間を共有できました。

中部地区に限らず広域の医療・介護機関から184名と多職種が一堂に会し、さまざまな視点で情報交換ができました。懇親会を機に広がる連携の輪を嬉しく感じております。

プログラム中、敬愛会グループの紹介として、

令和5年6月に敬愛会に加わった翔南病院や12月に開院したなかがみ西病院、さらに敬愛会の在宅・介護部門、なかがみ地域包括センター各役割・機能をご紹介いたしました。また患者さんの紹介をスムーズに行えるよう、紹介窓口の一本化や病床コントロールシステムの導入など連携強化に向けた具体的な方針をご案内いたしました。

ご参加のみなさま、当日は冷たい風が吹く中お越しいただき誠にありがとうございました。今後とも顔の見える連携をどうぞよろしくお願いいたします。

中頭病院 地域医療連携室課長 仲里 祐太



中頭病院 院長 下地 勉



沖縄市副市長 平田 嗣巳 氏



中部地区医師会会長 中田 安彦 先生

現代の生活では、パソコンやスマホ作業、家事などで"猫背・前かがみ"の姿勢や動作が多くなりがちです。猫背や前かがみの姿勢は、椎間板の中央にある髄核という組織に負荷がかかり腰痛の原因になることがあります。また、パソコン作業などで首が前に出る悪い姿勢が多い人は、肩周辺の筋が緊張しやすく、こりを感じやすくなります。肩周りの筋を収縮、弛緩させることで肩こりの軽減が期待できます。隙間時間で痛みの借金を返済して安全で健康に活動しましょう！

1~2回

これだけ体操[®]

・息を吐きながら、3秒間 骨盤を押すだけ

肩甲骨を寄せる
骨盤を前へ押し込むイメージ



Point!

腰痛の原因になる後ろにずれた髄核を、腰を反らして元の位置に戻すイメージ

このときは中止！



痛みがお尻から太もも以下に響く場合は中止して整形外科医にご相談ください

顎(あご)ひき体操

・あごを水平に強く押す

親指と人差し指であごをはさんで輪郭にぴったり沿わせる。そのまま力を入れて、あごを水平に強めに押す。

Point!

頭を水平に後ろにスライドさせたいので、あごを下げたり上げたりしないこと



肩回し体操

・肩に指先をのせ、後ろに向かって大きく回す

肘で円を描きつつ、肩甲骨を動かします。

こりの改善に役立ちます。

※きつい人は鎖骨付近に指先をそえましょう

Point!

肩甲骨の動きを意識しましょう



Let's
『顎(あご)ひき・肩回し体操[®]』
どこでもできる！腰痛・肩こり予防体操

今回は、皆さんの働く環境が少しでも安全に、健康に過ごせるよう、多くの方が経験する事が多い、腰痛、肩こりの予防体操を紹介します。

中頭病院 リハビリテーション科
理学療法士 當間智史





社会医療法人敬愛会 理念

良質な医療を地域に提供 ホスピタリティ精神に徹する

経営基盤の安定化 職場は学びと創造の場



中頭病院

高度・急性期/救急医療/集学的がん治療

沖縄市字登川610番地

代表 TEL:098-939-1300

<https://www.nakagami.or.jp/>



なかがみ西病院

地域包括ケア病棟

沖縄市知花6丁目25番5号

代表 TEL:098-921-0024

<https://24.nakagami.or.jp/>



翔南病院

急性期/慢性期/循環器/糖尿病/人工透析
泌尿器/消化器

沖縄市山内3丁目14番28号

代表 TEL:098-930-3020

<http://www.shonanhospital.com/>



ちばなクリニック

一般外来/専門外来/指導外来/人間ドック
画像検査・診断 (CT/MRI/PET-CT)

沖縄市知花6丁目25番15号

代表 TEL:098-939-1301

<https://chibana.nakagami.or.jp/>



なかがみ地域包括センター

3F~5F 介護付有料老人ホーム なかがみ苑

2F 敬和医院

看護小規模多機能型居宅介護 愛貴

1F 通所リハビリテーション ちばな

居宅介護支援事業所 なかがみ

訪問看護ステーション なかがみ

沖縄市字登川566番地

代表 TEL:098-923-1233

<https://www.nakagami.or.jp/nakagamihoukatu/>

ご予約関係、症状確認に関する
お問い合わせは

「ナビダイヤル」
をご利用ください

各種お問い合わせに応じたフォー
ムをSMS(ショートメッセージサ
ービス)でご案内いたします。

中頭病院



0570-09-1300

受付時間 平日 8時30分~17時30分 土日 8時30分~12時30分

ちばなクリニック



0570-09-1301

受付時間 平日 8時30分~17時30分 土日 8時30分~12時30分

※オペレーターにつながるまで
電話料金は発生しません

みなさまの声でより良い広報誌を作成してまいります

アンケートはこちらから

